



# 平和祈念礼拝

---

霊の実「平和」

2009/8/2

## 神との平和

---

「しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。それで今や、わたしたちはキリストの血によって義とされたのですから、キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。」

＜ローマ5:8-10＞

## 神との平和

---

- 私たちは神の前に正しくなく、神の怒りを受けるべき存在だった
  - 「罪人だった」「神の怒り」「敵」
- しかし、神の独り子であるキリストが私たち身代わりとして神の怒りを受けて下さった
  - 「キリストがわたしたちのために死んで下さった」「キリストの血により」「御子の死」
- その死により、神と私たちとの間に永遠で完全な平和が訪れた
  - 「神の怒りから救われる」「神と和解させて」



# 人との平和

---

- 「シャローム」(ヘブライ語「平和」)の意味
  - 完全であること・健全・健康・良い状態
  - 幸福・繁栄
  - 安全・平和・安静・友情
- 単に戦争がない状態のことではない
  - 不健康な平和は平和ではない
  - 表面上の平和は本当の平和ではない
- 良い関係を築くこと

# 人との平和

---

## ○ 理解のない平和はない

- 「私が欲しいのは、『理解のない平和』ではなく、『**平和をもたらす理解**』である。」(ヘレン・ケラー)

## ○ 努力のない平和はない

- 「**平和を実現する人々**は、幸いである。その人は神の子と呼ばれる」<マタイ5:9>

## ○ 犠牲のない平和はない

- 「キリストは... **十字架を通して**、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。」 <エフェソ2:16>



## 自分の中の平和(平安)

---

- 人知を超えて神から与えられる
  - 「そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」 <フィリピ4:7>
- キリストを心の王座に迎える
  - 「キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい。」 <コロサイ3:15>

## ホレイショ・スパフォードの証し

---

- シカゴの検事であった彼は、1871年の大火の時、自分の財産と息子を同時期に失っていたにもかかわらず、2年間献身的に家を失った人たちのために働いた。
- 83年に休みを取るため、家族と共にヨーロッパに行くことにした(D.L.ムーディの宣教旅行に同行する)。出発の直前、彼に急用ができ、妻と4人の娘たちを先に船に乗せた。
- ところが、妻と娘たちの乗った船が、イギリスの帆船と衝突して沈没した。妻は生き残った47人の中にいたが、娘たちは全員亡くなった。
- イギリスに向かう船の中。ちょうど事故のあったあたりで彼が作ったのがこの賛美である。



## 「やすけさは川のごとく」

---

- ①安けさは川のごとく 心ひたすとき  
悲しみは波のごとく わが胸みたすとき  
くすべて 安し み神とともにませば>
- ②悪しきものせまりくとも 試みありとも  
御子イエスの血のいさおし ただ頼むわが身は
- ③みよわが罪は十字架に くぎづけられたり  
この安きこの喜び たれもそこないえじ